株式会社ATグループ

2021年度

(2021年4月~2022年3月)

環境経営レポート























発行:2022年8月1日

ATgroup

《目 次》

1. 組織の概要	 1
2. 認証の対象範囲	
(1) エコアクション21の対象範囲	 2
(2)環境管理最高責任者および 環境管理統括責任者	 2
(3) 2021年度エコアクション21 推進体制・組織図	 3
(4) 推進体制の役割・権限・責任	 4
3. 環境経営方針	
(1) ATグループ環境基本方針	 5
(2) 具体的な推進事項	 5
4. 2021年度 環境経営計画	 6
5. 環境経営目標および実績評価	
(1) ATグループ全体	 7
(2) オートタウン高辻	 8
6. 環境経営の取組結果と評価	 9
7. 環境関連法規制の遵守および評価	
(1) 適用となる環境関連法規	 16
(2) 環境関連の法規違反、 苦情の有無	 16
8. 代表者による全体評価と見直し	 17
9. 2022年度の環境経営計画	
(1) 環境経営目標	 18
(2) CO ₂ 削減に向けた取組事項	 19
(3) 2022年度エコアクション21 推進体制・組織図	 20
【参考資料】	
2021年度グループ事業会社 の取組結果	 21



1. 組織の概要

(1) 事業所名および代表者

株式会社ATグループ 代表取締役 山口 真史

(2) 所在地

T466-0057

愛知県名古屋市昭和区高辻町6番8号 ATG南館8階



(3)事業活動の内容

下記の会社の株式を保有し、その会社の経営管理およびそれに付帯する業務

《エコアクション21》

- ・トヨタカローラ愛豊株式会社
- ・ネッツトヨタ愛知株式会社
- ・ネッツトヨタ東海株式会社
- ·トヨタL&F中部株式会社
- ・愛知スズキ販売株式会社

- ・株式会社アトコ/株式会社トランサット
- ・トヨタ情報システム愛知株式会社
- ・愛知クレジットサービス株式会社
- 株式会社ATビジネス
- ·ATグループ健康保険組合

《ISO14001》

- ・愛知トヨタ自動車株式会社
- ・株式会社トヨタレンタリース愛知
- ・トヨタホーム愛知株式会社

(4) 事業の規模(2022年3月 ※連結値)

売上高 370,785百万円

従業員数 6,678人



2. 認証の対象範囲

(1) エコアクション21対象範囲

■事業活動:グループ会社全体の経営戦略立案·各社の経営統括と運営、新車·中古車の販売、 自動車の整備·修理、産業車両·物流 システムの販売、情報システム開発・運用、 旅行代理店業務、グループ各社の管理委託業務

【オートタウン高辻】	会社名	拠点名	主な事業または用途
ATG南館	(株)ATグル―プ	本社	グループ各社の経営管理
		本社	自動車販売拠点の統括管理
	トヨタカローラ愛豊㈱	高辻店	自動車販売
	ナハル コカ <i>哥 た</i> ロ(H)	本社	自動車販売拠点の統括管理
	ネッツトヨタ愛知㈱	高辻店	自動車販売
	ネッツトヨタ東海㈱	本社	自動車販売拠点の統括管理
	トヨタL&F中部(株)	本社	産業車両・物流システム販売拠点の統括管理
	トヨタ情報システム愛知㈱	名古屋事業所	システム開発
	(株)ATビジネス	本社	グループ各社の間接業務
ATG北館	_	_	会議室
TSC	(株)ATビジネス	高辻サ-ビスセンター	自動車整備·修理

会社名	拠点数
トヨタカローラ愛豊(株)	64
ネッツトヨタ愛知(株)	30
ネッツトヨタ東海(株)	20
トヨタL&F中部(株)	28
愛知スズキ販売(株)	17
(株)アトコ/(株)トランサット	17/3
愛知クレジット(株)	1
トヨタ情報システム愛知(株)	1
(株)ATL [*] シ [*] ネス	5
ATグループ健康保険組合	1



★2022年10月 対象範囲拡大予定

会社名	拠点数
愛知トヨタ自動車㈱	95

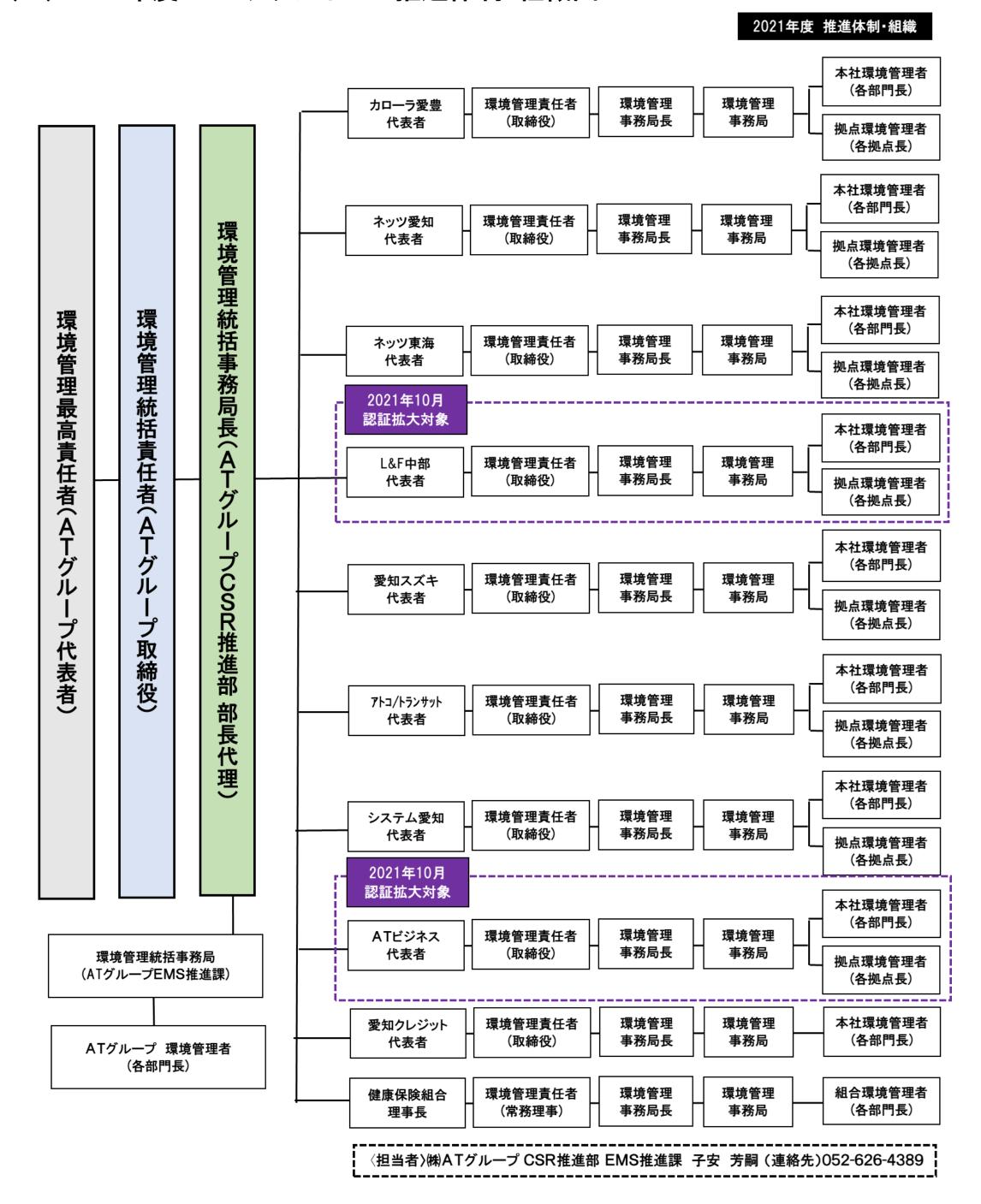
(2) 環境管理最高責任者および環境管理統括責任者

環境管理最高責任者:山口 真史

環境管理統括責任者: 武内 優



(3)2021年度 エコアクション21推進体制・組織図





(4)推進体制の役割・権限・責任

グループ	プ全体の推進に関わる役割・責任・権限
環境管理最高責任者	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営に関する統括責任
	・環境推進の実施に必要な人、設備、費用、時間を準備
	・環境管理統括事務局長を指名
環境管理統括責任者	・環境方針の策定、見直しおよび全従業員への啓蒙
	・環境経営レポートの報告
	・環境目標、環境活動計画を報告
	・全体の評価と見直しを実施
	・環境推進体制の構築、実施、管理
環境管理統括事務局 長	・環境関連法規等取りまとめ表を承認
^{現現官}	・環境経営レポートの確認
	・環境目標、環境活動計画を確認
	・環境管理事務局長の補佐、会議の事務局
	・環境負荷および環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境目標、環境活動計画案の作成
環境管理統括事務局	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等の取りまとめ表を作成し遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開

各社	tの推進に関わる役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営に関する統括責任
	・環境推進の実施に必要な人、設備、費用、時間を準備
	・環境管理事務局長を指名
環境管理責任者	・環境方針の策定、見直しおよび全従業員への啓蒙
	・環境経営レポートの報告
	・環境目標、環境活動計画を報告
	・全体の評価と見直しを実施
	・環境推進体制の構築、実施、管理
理接供理事效只属	・環境関連法規等取りまとめ表を承認
環境管理事務局長	・環境経営レポートの確認
	・環境目標、環境活動計画を確認
	・環境管理事務局長の補佐、会議の事務局
	・環境負荷および環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境目標、環境活動計画案の作成
環境管理事務局	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等の取りまとめ表を作成し遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成
	・自拠点(部門)における環境方針の周知
	・自拠点(部門)における環境推進活動の実施
環境管理者	・自拠点(部門)の従業員に対する教育訓練の実施
	・自拠点(部門)に関連する環境活動の報告、記録の作成
	・自拠点(部門)の問題点の発見、是正、予防処置の実施
分 ₩ □	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
(・決定事項を守り、自主的かつ積極的に環境活動へ参加



3. 環境経営方針

(1)ATグループ環境基本方針

ATグループは、全ての事業活動において環境との調和を図るため以下の項目を遂行し、環境汚染防止ならびに環境保全に持続的に努め、「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の構築に寄与します

- ・環境関連法令の遵守
- ・環境推進管理体制の構築
- ・環境負荷低減への積極的な貢献
- ・環境にかかわる教育の継続的な実施

2015年4月22日制定 株式会社ATグループ 代表取締役社長 山口 真史

(2) 具体的な推進事項

環境法令の遵守

・環境関連法規制、条例を定期的に確認し遵守します

環境推進体制の構築

- ・環境管理組織をつくり、「役割・責任・権限」を明確化します
- ・毎年「環境経営レポート」を作成し、推進体制の決定および確認をします

環境負荷低減への積極的な貢献

- ・二酸化炭素の排出削減を推進します
- ・リサイクルの推進と廃棄物の削減に努めます
- ・地域コミュニケーションを大切にし、環境保護活動に協力します

環境にかかわる教育の継続的な実施

教育プログラムによる従業員教育を実施します。



4. 2021年度 環境経営計画

① 環境法令の遵守

- ・環境関連法令の改正情報についてWEBサービスを使用し定期的に監視する
- ・法令改正情報を適時伝達し情報共有する

② 二酸化炭素排出量の削減

《電力使用量の削減》

- ・節電啓蒙ポスターの掲示
- ・不要照明の消灯
- ・室内温度を基準とした空調設定(夏季:28℃・冬季:20℃)
- ・クールビズ、ウォームビズの推進

《燃料使用量の削減》

- 社有車全てエコカーを使用
- ・エコドライブの推進

③ 廃棄物総排出量の削減

- ・各所ごみ箱の設置数を制限し、発生抑制に努める
- ・ごみ分別廃棄ルールを定め、分別廃棄を実施

④ 水使用量の削減

- ・手洗い時の流し放しをしない
- ・施設設備は節水タイプを優先して使用

⑤ リサイクルの推進

- ・古紙は品目別に分別廃棄し、リサイクル可能な回収業者に委託
- ・資源ごみ(びん、缶、ペットボトル)はリサイクル可能な回収業者に委託

⑥ 社会貢献活動の推進

- ・毎月1回、地域貢献として近隣の清掃活動を実施
- ・地域への貢献活動を積極的に実施

⑦ 環境教育の推進

- ・グループ統一、環境マネジメント「EMSファイル」を活用した包括的な管理を実施
- ・環境教育ツールを活用し、従業員教育を継続的に実施

⑧ 次世代自動車の推進

- ・低炭素社会へ貢献するため、次世代自動車(ハイブリッド、電気自動車、プラグインハイブリッド、 燃料電池車、マイルドハイブリッド)の使用および販売を推進
- ・お客さまへ自動車使用に関わる「環境影響」をご説明し、次世代自動車を率先販売
- ※認証拡大途中であるため、拡大が完了する2022年度まで記載の活動を継続する



5. 環境経営計目標および実績評価

(1)ATグループ全体

E	A21環境経営		基準年度実績		年度目標		2021年度		
	取り組み項目		2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	実統	責	
	〔目標値設定基準	〔目標值設定基準率〕		基準年度 実績値比 1%削減	基準年度 実績値比 1%削減	基準年度 事績値比 1%削減	実績	対目標比	
二酸化炭素 排出量の削減 ^{***}	エネルギー使用量 (原油換算値)	kl	13,077	12,946	12,946	12,946	13,276	2.5%	
	電気(※1)	KWh	39,020,826	39,422,618	39,422,618	39,422,618	37,389,291	-5.2%	
	都市ガス	m³	693,611	686,675	686,675	686,675	685,951	-0.1%	
	LPG	m³	141,781	140,363	140,363	140,363	148,172	5.6%	
	ガソリン	L	1,836,113	1,817,752	1,817,752	1,817,752	1,713,438	-5.7%	
	軽油	L	996,645	986,679	986,679	986,679	591,977	-40.0%	
	二酸化炭素排出量	t-CO2	26,179	26,094	26,094	26,094	24,686	-5.4%	
	〔目標值設定基準	〔目標値設定基準率〕		対前年	対前年	対前年	実績	対目標比	
 廃棄物排出量				1%削減	1%削減	1%削減			
の削減 (※2)	一般廃棄物	t		_	_	_	933.3	_	
	産業廃棄物	t		_	_	_	11,792	_	
水使用量	〔目標値設定基準	[率]		基準年度 実績値比 1%削減	基準年度 実績値比 1%削減	基準年度 実績値比 1%削減	実績	対目標比	
の削減	水使用量	m³	222,641	220,415	220,415	220,415	192,489	-12.7%	
古紙資源化	〔目標値設定基準	基率 〕		再資源化	再資源化	再資源化	実績	対目標比	
の推進	古紙資源化率	%	100	100	100	100	100	0.0%	
次世代自動車の推販	〔目標値設定基準	基率 〕		基準年度 実績値比 1%増	基準年度 実績値比 1%増	基準年度 実績値比 1%増	実績	対目標比	
(自動車 販社全体) (※3)		%	40.9	41.9	41.9	41.9	42.2	0.7%	

《エネルギー使用量に関する総括》

- •LPG以外のエネルギー使用量については対2019年度比で削減することができた。今後も削減に向けて引き続き努力していく
- ・とくに軽油の使用量が大きく減っているが、これはコロナ禍に伴う社内便のルート削減による効果が大きいと思われる

※1 電気の「二酸化炭素排出量」はトヨタエナジー排出係数を使用(2019年度 0.446kg-CO₂/kWh 2021年度0.461kg-CO₂/kWh)を使用 ※2「廃棄物排出量」については、対前年比で目標設定するが、データ取得が2021年度からとなるため来年度以降に目標比を算出

※3「次世代自動車販売」はグループの自動車販売会社が対象

◆化学物質については、2022年度より該当拠点が加わったことから、次年度以降、目標を設定する。



(2)オートタウン高辻

EA21環境経営		基準年度実績		年度目標		2021年度				
	取り組み項目		2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	実	績		
〔目標値設定基準率〕			基準年度 実績値比 1%削減	基準年度 実績値比 1%削減	基準年度 事績値比 1%削減	実績	対目標比			
	エネルギー使用量(原油換算値)	kl	547	541	541	541	581	7.4%		
	電気(※1)	KWh	1,562,872	1,547,243	1,547,243	1,547,243	1,875,366	21.2%		
二酸化炭素	都市ガス	m³	72,713	71,986	71,986	71,986	93,324	29.6%		
排出量の削減	LPG	m³		該当なし						
	ガソリン L		60,225	59,623	59,623	59,623	79,146	32.7%		
	軽油	L	921	912	912	912	1,657	81.7%		
	二酸化炭素排出量	t-CO2	998	986	986	986	1,257	27.5%		
	〔目標値設定基準	[率]		対前年 目標値比 1%削減	対前年 目標値比 1%削減	対前年 目標値比 1%削減	実績	対目標比		
廃棄物排出量 の削減	一般廃棄物	t	17.1	16.9	16.7	16.5	13.5	-19.2%		
	産業廃棄物	t	該当なし							
水使用量	〔目標値設定基準	≛率]		基準年度 実績値比	基準年度 実績値比	基準年度 実績値比	実績	対目標比		
の削減	水使用量	m³	10,254	1%削減 10,151	1%削減 10,151	1%削減 10,151	12,500	23.1%		
古紙資源化	〔目標値設定基準	[率]		再資源化	再資源化	再資源化	実績	対目標比		
の推進	古紙資源化率	%	100	100	100	100	100	_		

《エネルギー使用量に関する総括》

- ・電気、ガス使用量ともに目標比を上回ってしまったが、これは換気を実施しながらのエアコン使用による負荷増加が要因であったと思われる
- ・ガソリン、軽油ともに使用量が増加しているが、これは事業会社本部が拠点への訪問を積極的に実施したことが要因と思われる

※1 電気の「二酸化炭素排出量」はトヨタエナジー排出係数を使用(2019年度 0.446kg-CO2/kWh 2021年度0.461kg-CO2/kWh)を使用



6. 環境経営の取組結果と評価

環境法令の遵守

★鈑金塗装拠点への定期監査を実施

- ・「鈑金・塗装」の業務を行う拠点に対し、年1回 環境関連法令や労働安全衛生法に関する法令 遵守状況を確認する目的で実施しています。
- ・塗料等の有機溶剤や危険物の管理の運用状況を 現地現物で確認した結果、全拠点で適正運用され ていました。
- >拠点内に掲示されている法定看板と危険物の 保管状況



★整備工場を有する拠点での「水質検査」実施

- ・「水質汚濁防止法」「下水道法」遵守を担保する 目的で、整備工場を有するグループ事業会社の 全拠点で「水質検査」を実施し、結果は「環境 ポータルサイト」に掲載し「見える化」を図っています。
- ·委託業者による対象拠点の測定を実施した結果、 基準値を逸脱している拠点はありませんでした。
- >拠点の「油水分離槽」最終層から採水している 様子と測定結果の画面



	34-4/101/1	5.8~8.6	BOD 160	SS 200
2021/07/20	洗車機	7.2	5.1	4
2021/07/20	油水分離福出口	7.2	3.3	2

★整備工場を有する拠点での「騒音測定」実施

- ・「騒音規制法」遵守を担保する目的で、年1回、 整備工場を有するグループ事業会社の全拠点 で「騒音測定」を実施し、その結果を「環境ポータル サイト」に掲載し「見える化」を図っています。
- ・測定は稼働時間内に近隣住居に近い位置で行って おり、基準値を逸脱した拠点はありませんでした。
- ▶拠点の敷地境界で騒音測定を実施している様子と 測定結果の画面



測定日	実施者		実施者 用途地域		測定箇所 1 (dB)	判定	測定箇所 2 (dB)	判定	
2022/03/24	菱川	敦史	準住居地域	50	44.3	0	46.8	0	



★「排出事業者による産廃処理状況の確認」と実施

- ・「廃棄物処理法」および県の環境条例で、排出事業者には委託契約業者への年1回の現地確認の実施が求められています。そこで、グループ事業会社が委託契約を結んでいる産廃業者への現地確認を事業会社とともにATグループが実施しています。
- ・専用のチェックシートに確認結果と現地の写真を 添付した報告書を作成し、事業会社へ報告しました。
- ▶「現地確認報告書」と現地確認の様子



★少量危険物庫・コンプレッサー室への注意喚起実施

- ・昨年度のエコアクション21の拠点審査で「少量危険物庫」内での可燃物保管についての指摘を受けました。そこで、「可燃物の保管禁止」をグループ統一ルールと定め、該当する拠点へ注意喚起の掲示物配付し貼付の徹底を図りました。
- ▶作成した少量危険物庫とコンプレッサー室への 掲示物



★EMS推進連絡会の定期開催

- ・四半期に1回、グループ事業会社の環境担当者を 招集して、環境法令の改正状況、各社の環境活 動の進捗状況や発生した環境事故に関する情報 などを共有しています。
- ・会議資料はペーパーレスの推進を図るべくタブレット 端末を使用して実施しています。

➤ペーパーレス会議で使用した資料





二酸化炭素排出量の削減

★グループ全体のCO2削減目標を決定

- ・日本国内においても政府の「2050年までにカーボンニュートラルを目指す」との宣言以降、CO2削減の動きが加速してます。そして、ATグループとして「SDGs宣言」の目標の1つに「CO2削減への対応」を掲げたことを受け「2030年度に排出されるCO2を2019年度比30%削減」という目標を決定しました。
- ・目標達成に向け、グループ全体でCO2削減に向け た取組を進めてまいります。
- ⇒削減目標を説明した資料と取組の進捗イメージ



★環境ポータルサイトの開設

- ・グループ全社を対象にエネルギー使用量や法令に 関する情報など、環境に関する情報の見える化を 図るべく「環境ポータルサイト」を開設しました。
- ・今後はCO2削減を推進していくための情報を掲載するなどコンテンツの拡充を図っていきます。
- ➤環境ポータルサイトのTOPページと拠点のエネル ギー使用量表示画面



★「クールビズ」の実施と地球温暖化対策への参加

- ・環境省が夏季に推奨しているクールチョイスの一つである「クールビズ」を5月から9月の5カ月間実施しました。
- ・室内温度「28℃目安」をグループ全体で推奨し、 地球温暖化対策活動に参画することにより00½削減 の進捗を図りました。
- →執務室内のエアコンパネルに室内温度の目安を表示した掲示物とクールチョイスの紹介ページ







廃棄物総排出量の削減およびリサイクルの推進

★南館執務室「ごみ分別廃棄ステーション」の活用

- ・ATG南館の各フロア執務室のごみ廃棄場所を統一 し、分別廃棄の推進を図っています。
- ・個人のごみ箱を廃止することにより、ごみの発生抑制を図っています。
- ・古紙の分別もできるよう専用の「古紙分別BOX」と 「機密文書回収BOX」を設置しています。
- ➤ ATグループ執務室内の「ごみ分別廃棄ステーション」



★カローラ愛豊・ネッツ愛知全店への 「機密文書BOX」設置完了

- ・ATグループでは、紙ごみの再資源化と個人情報の記載された書面の適切な処理を目的として、「機密文書BOX」の設置を進めてきましたが、カローラ愛豊とネッツ愛知全店への設置が完了しました。
- ➤ネッツ愛知執務室に設置された「機密文書BOX」



★コロナ検査キットの適切な廃棄

- ・コロナ感染拡大に伴い、南館各社において拡大防止を目的として「抗原検査」を実施しました。検査後の検査キットは感染性廃棄物となるため、高辻サービスセンター1階のごみ集積場内に廃棄BOXを設置し、ATグループを排出事業者として特別管理産業廃棄物として廃棄しました。
- ➤高辻サービスセンター1階のごみ集積場に設置した 廃棄BOXと法定表示板





社会貢献活動

★チョイソコ (デマンド型交通) への参画

- ・(株)アイシンが展開するデマンド型交通サービス「チョイソコ」に携わっています。トヨタ販売店ネットワークを活用し、単なる〈移動〉の手段に留まらず地域の皆さんが"ちょっとでも"外出したくなる機会を創造し豊かで健やかな暮らしのお手伝いをしています。
- · チョイソコ会員である高齢者に出かけていただくため のイベントを実施しました。
- ➤ スマホイベントの様子と豊田市で運行している チョイソコにこにこバス



★甚大な被害をもたらした「激甚災害」へ義援金

・想定を超えるような甚大な自然災害である「激甚災害」に対し、災害支援としてグループ内事業会社 (12社)と連名にて「日本赤十字社」に義援金を寄託しました。

【義援金の寄付を実施した災害】

- ·令和3年7月大雨災害
- ·令和3年8月台風第9号大雨災害
- ·令和3年8月大雨災害
- ➤日本赤十字社の義援金公募のHP



★従業員へのコロナワクチン職域接種実施と 学生の受け入れ

- ・ATグループでは、ATグループ健康保険組合と グループ各社が連携し、本社を接種会場として希望 する従業員へのワクチン職域接種を実施しました。
- ・寮生活でワクチン接種がままならない専門学校に 学ぶ他府県出身の学生対象にワクチン接種を実施 しました。
- ➤大規模接種会場と接種に訪れた学生の様子





★「クルマづくり究めるプロジェクト」への参加

- ・このプロジェクトは、子供たちにモノづくりの楽しさを 学んでもらうことを目的としています。モノづくりのまち 「豊田市」の子供を対象に、豊田市が事務局となり トヨタ自動車をはじめとしたトヨタ系製造メーカーととも に、グループ各社から参加したメンバーが指導員を 務めました。
- ➤プロジェクトで教材として使用したトヨタスポーツ800 《参加事業会社》
 - 愛知トヨタ・カローラ愛豊・ネッツ愛知・ネッツ東海レンタリース愛知・L&F中部・愛知スズキ・ATグループ





★トヨタ未来スクールへの参画

- ・トヨタ自動車が企画した「トヨタ未来スクール」に参画しました。小学5年生を対象にパソコンを用いた『クルマまるわかり教室』を実施し、クルマと環境の関わりやSDGsに関わる環境問題などを通じた社会貢献を学ぶ機会としました。
- →開催当日の教室の風景



★まちなかクリーンデーの実施

- ・毎月第2金曜日はグループ統一の「まちなかクリーンデー」として、拠点まわりだけでなく、近隣のまちなかまで範囲を広げ、専用のごみ袋を使って清掃活動を実施しています。
- ➤グループ全社が「まちなかクリーンデー」で使用している専用のごみ袋





環境教育

★環境マネジメント「EMSファイル」の活用

- ・環境情報を集約する「EMS運用ファイル」と環境 関連法令に関わる記録類を集約する「記録・保管 ファイル」を用いて帳票類の一元管理を行っています。
- ・2冊のファイルはエコアクション21の認証を取得しているすべての事業会社の拠点に配備して包括的管理をしています。
- ➤ グループ統一で使用している「EMSファイル」



★環境教育ツールの活用

- ・環境に関する情報や取り組みの伝達ツールとして 「e-information」を定期発行し、グループ全社に 展開しています。
- ・環境に対するグループ統一の取り組みや考え方を 従業員一人ひとりに伝えるガイドブックや環境法令を 解説するテキストを作成し、グループ統一の教育 ツールとして活用しています。
- ➤配布している環境教育関連のガイドブック等





7. 環境関連法規制の遵守状況および評価

(1)適用となる環境関連法規

法令等の名称		要求事項	該当の 有無	評価	
		産業廃棄物の適切な処理	0	0	
廃棄物処理法 廃棄物	廃棄物処理法	電子マニフェスト発行状況の報告	0	0	
		収集運搬業者・処理委託業者との契約締結	0	0	
	愛知県および名古屋	産廃業者への現地確認実施	0	0	
	市、廃棄物の適正な 処理に関する条例	現地確認の記録保管(5年間保管)	0	0	
+ =	フロン排出抑制法	出抑制法 定期点検、フロンガスの適正な回収			
大気	自動車NOX·PM法	自動車から排出される窒素酸化物等の排出抑制に努める	0	0	
	水質汚濁防止法	貯油施設の破損等、事故時の措置	0	0	
	下水道法	下水道への不適物放流禁止の遵守	0	0	
水質		設置または変更時の届出	0	0	
	浄化槽法	保守点検	0	0	
		年1回、水質に関する定期検査を受ける(11条検査)	0	0	
	取立:H#1:+	規制基準の遵守	0	0	
取立 振動	騒音規制法 	騒音発生源となる特定施設設置時の届出	0	0	
騒音·振動	卡科坦州	規制基準の遵守	0	0	
	振動規制法 	振動発生源となる特定施設設置時の届出	0	0	
	白 動 市口共 ノカル 汁	自動車所有者の責務遂行	0	0	
再資源化	自動車リサイクル法	顧客から廃棄依頼された自動車・使用済自動車の適正な処理	0	0	
	家電リサイクル法	特定家庭用機器(テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機等)の適正な廃棄	0	0	
	PRTR法	指定化学物質等の取扱い等自主管理	0	0	
	% L ← : +	保管量の遵守	0	0	
化学物質 危険物	消防法	保管方法、設備や掲示物表示の遵守	0	0	
	高圧ガス保安法	高圧アセチレンガスボンベの適切な取扱い	0	0	
	労働安全衛生法	化学物質等の有害性等の調査および健康障害防止処置	0	0	
エネルギー	省エネルギー法	連鎖化事業所としての特定事業者指定と削減計画の策定	0	0	

(2)環境関連の法規違反、苦情の有無

- ・過去3年間、環境関連法規の違反、関係当局からの違反等の指摘もありませんでした。
- ・騒音に関する苦情はありましたが、全て適切に対応し解決しています。



8. 代表者による全体評価と見直し

◇環境マネジメント活動内容

2021年度は、トヨタL&F中部29拠点、ATビジネス3拠点(グッドラック・ナイスラック・高辻サービスセンター)が新たにエコアクション21の認証に加わり、ATグループはサイト数において日本国内最大規模の認証取得企業となりました。

今後は取り組み内容においても評価され、地域のみなさまから信頼いただける企業を目指すべく、 環境に対する情報提供や教育の充実を図りながら、グループ社員一人ひとりの環境リテラシーの 向上を図ってまいります。

◇環境法令の遵守状況

グループの各拠点における環境に影響を及ぼす恐れのある項目については、グループの CSR活動としての監査や調査活動を通じて、定期的な確認を行っています。また、委託業者 による水質検査や従業員自ら実施しているサービス工場周辺の騒音測定により、環境関連法令 が遵守されていることが確認されており、関係当局から法令違反等の指摘もありませんでした。 私たちの事業活動において肝要なことは、法令違反に至らぬ未然防止活動でり、経営が現場に 寄り添った管理体制を築くことで事業会社とともにコンプライアンスの徹底を図ってまいります。

◇今後に向けて

サスティナブルな社会の実現に向けて、環境負荷低減はもちろん安全性や多様性など、私たちのコア事業でもある"クルマ"のあり方やニーズも大きく様変わりしていくなか、ATグループも様々な環境変化に柔軟に対応することが求められています。

この度、ATグループは「2030年度に排出されるCO₂を2019年度比30%削減」という目標を掲げ、 ゼロ・エミッションの実現に微力ながら寄与すべく、企業責任の遂行と従業員一人ひとりの意識 醸成に向け、ATグループ/事業会社/従業員の三位一体で持続的な活動を進めてまいります。

> 2022年3月31日 株式会社ATグループ 代表取締役社長 山口 真史



9.2022年度の環境経営計画

(1)環境経営目標

① 環境法令の遵守

- ・環境関連法令の改正情報についてWEBサービスを使用し定期的に監視する
- ・法令改正情報を適時伝達し情報共有する

② 二酸化炭素排出量の削減

《電力使用量の削減》

- ・節電啓蒙ポスターの掲示
- ・不要照明の消灯
- ・室内温度を基準とした空調設定(夏季:28℃・冬季:20℃)
- ・クールビズ、ウォームビズの推進

《燃料使用量の削減》

- ・社有車全てエコカーを使用
- ・エコドライブの推進

③ 廃棄物総排出量の削減

- ・各所ごみ箱の設置数を制限し、発生抑制に努める
- ・ごみ分別廃棄ルールを定め、分別廃棄を実施

4 水使用量の削減

- 手洗い時の流し放しをしない
- ・施設設備は節水タイプを優先して使用

⑤ リサイクルの推進

- ・古紙は品目別に分別廃棄し、リサイクル可能な回収業者に委託
- ・資源ごみ(びん、缶、ペットボトル)はリサイクル可能な回収業者に委託

⑥ 社会貢献活動の推進

- ・毎月1回、地域貢献として近隣の清掃活動を実施
- ・地域への貢献活動を積極的に実施

⑦ 環境教育の推進

- ・グループ統一、環境マネジメント「EMSファイル」を活用した包括的な管理を実施
- ・環境教育ツールを活用し、従業員教育を継続的に実施

⑧ 次世代自動車の推進

- ・低炭素社会へ貢献するため、次世代自動車(ハイブリッド、電気自動車、プラグインハイブリッド、 燃料電池車、マイルドハイブリッド)の使用および販売を推進
- ・お客さまへ自動車使用に関わる「環境影響」をご説明し、次世代自動車を率先販売
- ※認証拡大途中であるため、拡大が完了する2022年度まで記載の活動を継続する



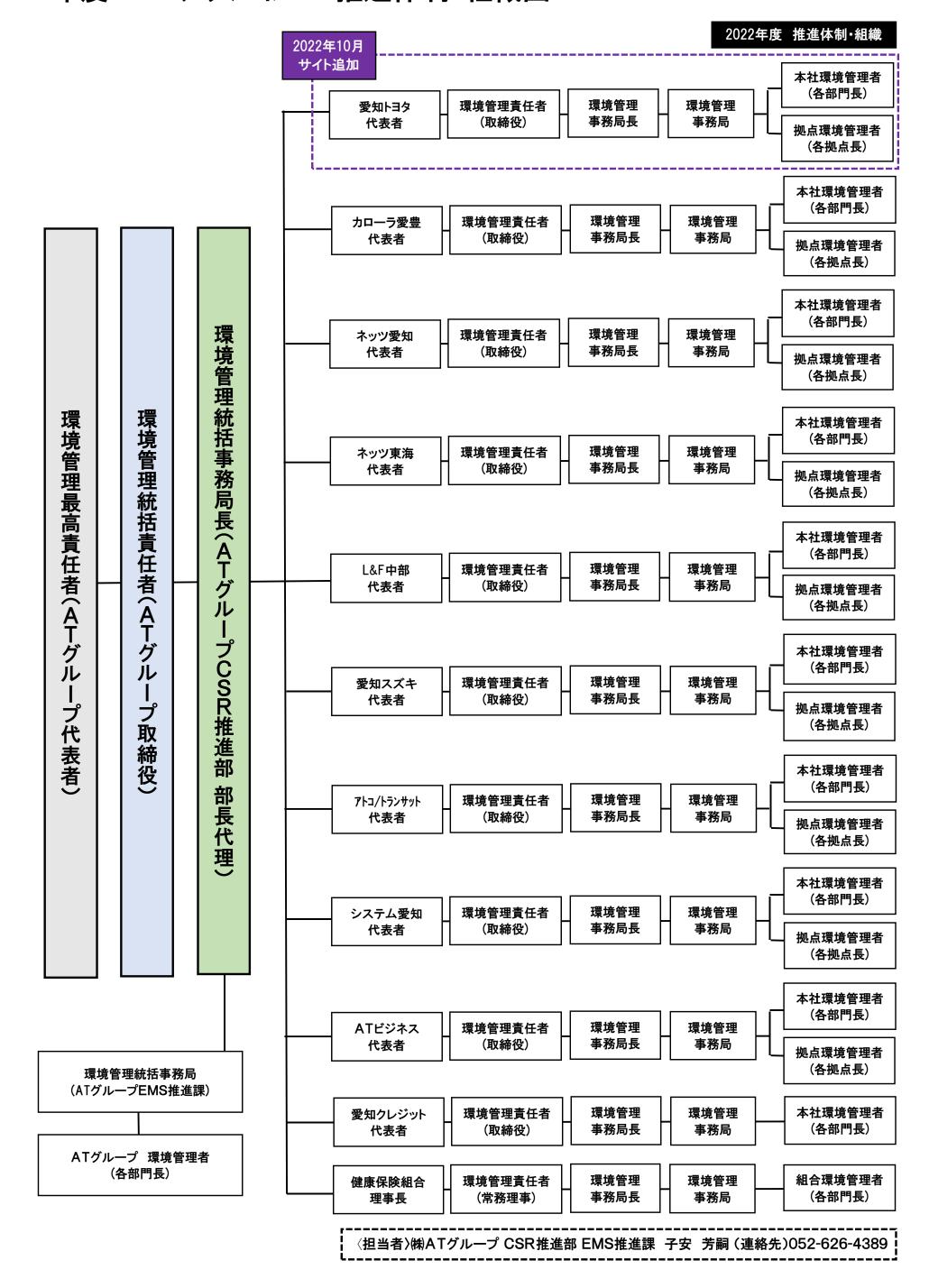
(2) CO2削減に向けた取組事項

グループ統一取組事項「CO2削減に向けた3つの"カエル"活動」

u 75 D	To 化本本		対象		取組時期		中长江科
カエル項目	取組事項	会社	拠点	従業員	2022年度	中長期	実施活動
	省エネ機器の計画的導入	0	0		0		照明のLED化 省エネエアコンの導入 トイレ設備のリフォーム
モノを替える	社有車の環境車両比率拡大 (EV·PHEV·HEV·FCV)	0				0	ガソリン車・軽油車をEV・PHEV・HEV・FCVへ 切替
	拠点への自家消費型 太陽光発電導入	0				0	新設拠点の建築時に導入を検討 可能であれば既存拠点への導入も進める
意識と行動	エネルギー使用量の 対前年1%削減	0	0	0	0		不要な照明消灯の徹底 働き方改革で退社時間を早める エアコン設定温度(夏:28℃ 冬20℃)の徹底
を変える	ペーパーレスの推進	0	0	0	0		業務見直しによる紙使用量、コピー量の削減 リサイクルコピー用紙への切替
☆烘~~~~	環境活動への参加	0			0		植林事業等の環境活動支援
自然に還る	再生エネルギーの導入	0				0	電力会社から販売されている再生エネルギー (太陽光・水力・風力等から発電したグリーン 電力を購入)



(3) 2022年度 エコアクション21推進体制・組織図





【参考資料】

(との) R エコアクション 21 認証番号 0012546

2021年度

グループ事業会社の 取組結果

※活動取組事例は各社環境経営レポートから抜粋



◆トヨタカローラ愛豊株式会社 (主な業務:車両販売 対象拠点数:64)

EA21環境紀	E営取組項目	単位	年度	使用量	対前年	CO2排出量(t)
	エネルギー使用量	1-4	2020	2,543	0.00/	_
	(原油換算値)	kℓ	2021	2,542	0.0%	_
	雨左	Le VA/In	2020	7,941,652	0.00/	3,542.0
	電気	kWh	2021	7,926,230	-0.2%	3,654.0
	±n → ±² →	3	2020	65,888	0.00/	146.9
	都市ガス	м	2021	68,390	3.8%	152.5
	LDC	3	2020	65,770	4.60/	197.3
二酸化炭素	LPG	п³	2021	68,818	4.6%	206.5
排出量の削減	425.0.15.	0	2020	266,670	0.10/	618.7
	ガソリン	l l	2021	272,146	2.1%	631.4
	本文と中	0	2020	112,500	7 50/	290.3
	軽油	l l	2021	104,023	-7.5%	268.4
	-k.\ \	3	2020	43,445	0.00/	23.5
	水道	m	2021	43,809	0.8%	23.7
	二酸化炭素	_	2020	_	0.40/	4,818.6
	排出量合計	t	2021	_	2.4%	4,936.4
一般廃棄物	ón cós do Mo	l. m	2020	_		_
の削減	一般廃棄物	kg	2021	243,331	_	_
廃棄物排出量	本 ₩ 序 春 ₩-	_	2020	2,596	0.00/	_
の削減	産業廃棄物	į t	2021	2,698	3.9%	_
古紙資源化	十如次海儿去	0/	2020	100	0.00/	_
の推進	古紙資源化率	%	2021	100	0.0%	_
次世代自動車	販本い変	%	2020	34.7	15.20/	_
の推販	販売比率	70	2021	40.0	15.3%	_

《環境活動取組事例》

ATG環境ガイドライン 自主チェック実施

重点管理設備(環境関連)を毎週火曜日にチェックし、 本部に1か月分をまとめて状況報告をしている。 (異常が有った場合は都度対応している)



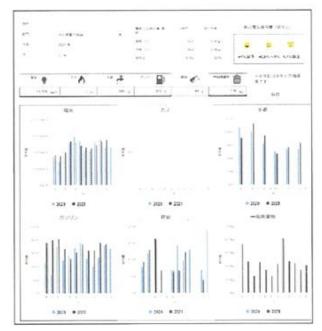
〈重点管理設備点検確認シート〉



2. エネルギー使用量の検証

Office365 の環境ポータルに、各拠点のエネルギー 使用量が確認出来るようになり(他拠点比較、対前年 比較可能)、毎月確認することにより使用量の削減意識を 高めている。毎月対前年を確認することにより、異常値の 発見もできる。

(電気・ガス・水道・ガソリン・軽油・一般廃棄物の使用量が 拠点別に分るようになっている)



〈365環境ポータル画面〉

3. 水質検査の実施

69 カ所の油水分離槽の排水を検査(外注)したところ、 4カ所の異常が判明した。拠点訪問し指導又は清掃を 実施し、一定期間経過後再検査をして正常になった事を 確認した。

(1拠点に2ヵ所油水分離槽が有る拠点が有る為69カ所の測定となる)



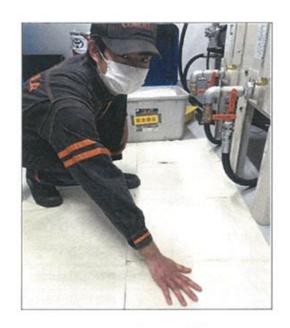
〈水質検査報告書〉

4. 緊急訓練の実施

3月11日に防災訓練を実施した。 水のうを使用したゲリラ豪雨対応およびオイル流出の対応訓練を実施し、緊急時冷静に対 応できるように周知している。



〈水のう訓練〉



〈オイル流出訓練〉



◆ネッツトヨタ愛知株式会社 (主な業務:車両販売 対象拠点数:32)

EA21環境彩	E営取組項目	単位	年度	使用量	対前年	CO2排出量(t)
	エネルギー使用量	1-0	2020	1,175	0.00/	_
	(原油換算值)	kℓ	2021	1,202	2.3%	_
	毒左	LaMA	2020	3,959,430	1.00/	1,765.9
	電気	kWh	2021	4,008,361	1.2%	1,847.9
	±n++×	3	2020	16,783	4 00/	37.4
	都市ガス	m³	2021	16,076	-4.2%	35.8
	LDO	3	2020	15,671	0.0%	47.0
二酸化炭素	LPG	m³	2021	15,990	2.0%	48.0
排出量の削減	4% 11.15		2020	125,149	11.00/	290.3
	ガソリン	Q.	2021	140,036	11.9%	324.9
	±∇ >±	0	2020	6,963	00.00/	18.0
	軽油	Q	2021	9,108	30.8%	23.5
	-l- \ 	3	2020	23,958	0.10/	12.9
	水道	m³	2021	23,924	-0.1%	12.9
	二酸化炭素	l.m	2020	_	E C0/	2,171.6
	排出量合計	kg	2021	_	5.6%	2,293.0
一般廃棄物	加克索泰州		2020	_		_
の削減	一般廃棄物	t	2021	75,152	_	_
廃棄物排出量	在		2020	953	2.20/	_
の削減	産業廃棄物	t	2021	922	-3.3%	_
古紙資源化	十年多语儿女	0/	2020	100	0.0%	_
の推進	古紙資源化率	%	2021	100	0.0%	_
次世代自動車	旧主い歩	0/	2020	31.2	16.00/	_
の推販	販売比率	%	2021	36.2	16.0%	

《環境活動取組事例》

1. 重点管理設備日常点検

・毎週店舗にて重点管理設備日常点検確認シート にて、エンジニアリーダーが設備の点検を実施 月末または月初に本部に報告を実施 本部は、報告書にて確認を実施しています。





2. 油水分離槽水質検査

・7月に対象29店舗油水分離槽の水質検査を外注業者に依頼し実施しました。

9月の検査結果から2店舗が基準値オーバーを確認 10月より対象店舗の対策を実施し2月に再検査を 行いました。

再検査結果は、すべて基準値内に収まりました。



3. エアコン温度の設定

エアコンの温度設定目安を温度計と セットにしてわかりやすく表示し啓蒙しました。



4. 環境ポータルの活用

環境ポータルの毎月の電気使用量を前年と比較し前年比を評価入力しています。





◆ネッツトヨタ東海株式会社(主な業務:車両販売 対象拠点数:22)

EA21環境彩	E営取組項目	単位	年度	使用量	対前年	CO2排出量(t)
	エネルギー使用量	1-0	2020	1,144	-0.3%	_
	(原油換算值)	kℓ	2021	1,140	-0.3%	_
	雨左	Le VA/In	2020	3,758,789	0.20/	1,676.4
	電気	kWh	2021	3,771,288	0.3%	1,738.6
	## 	3	2020	25,500	F 0%	56.9
	都市ガス	m³	2021	27,002	5.9%	60.2
	LPG	m³	2020	12,741	7.8%	38.2
二酸化炭素	LPG	m	2021	13,741	7.8%	41.2
排出量の削減	487.117.	0	2020	101,442	1 00/	235.3
	ガソリン	Q	2021	99,547	-1.9%	230.9
	軽油	0	2020	43,466	-19.5%	112.1
	軽/出	Q	2021	35,000	-19.5%	90.3
	水道	m³	2020	24,458	-11.8%	13.2
	小 追	m	2021	21,574	-11.0%	11.6
	二酸化炭素	+	2020	_	1.9%	2,132.2
	排出量合計	t	2021	_	1.9%	2,172.9
一般廃棄物	加藤藤柳	l.a	2020	_		_
の削減	一般廃棄物	kg	2021	76,960	_	_
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	2020	708	-11.0%	_
の削減	产 未供来物		2021	630	-11.0%	_
古紙資源化	古紙資源化率	%	2020	100	0.0%	_
の推進	口机具冰心平	70	2021	100	0.0%	_
次世代自動車	販売比率	%	2020	31.2	15.1%	_
の推販	双元几平	70	2021	35.9	13.1%	_

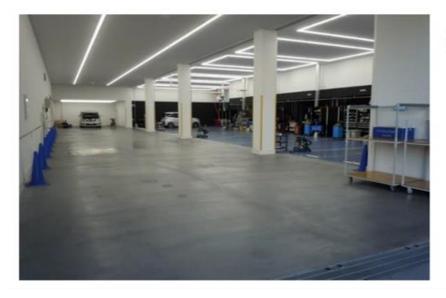
《環境活動取組事例》

1. 工場の省エネ(工場照明のLED化)



岡崎北店

工場照明のLED化を実施



西尾店

建替えに伴い、店舗照明すべてLED化 を実施



2. 省エネルギー、CO2削減関係



毎月、店長に拠点評価入力をしていただき、その際に環境ポータルサイト内を確認して、店舗のエネルギー使用量(電気・ガソリン・軽油・水道の各使用量、一般廃棄物の量)を把握してもらう

3. 騒音測定の実施

	騒音規制基準值	測定值(dB)	結果判定	
拠点名	(dB)	※4か所のうち最大値、 小数点以下切り捨て	0/×	用途地域名
徳 重	50	88	×	
半 田	50	77	×	第1種住居地域 第2種住居地域
加木屋	50	68	×	準住居地域
豊橋東	50	69	×	
呼続	65	55	0	
大 府	65	65	0]
豊明	65	56	0	1
高浜	65	56	0]
安 城	65	60	0	
岡崎北	65	69	×	近隣商業地域
岡崎中	65	60	0	商業地域
岡崎東	65	64	0	準工業地域
西尾	65	61	0]
蒲 郡	65	63	0	
豊川	65	68	×	
豐橋柱	65	64	0]
レクサス緑	65	76	×	
名 和	70	68	0	
名和BPセンター	70	68	0	工業地域
刈谷	70	60	0	1

11~12月にかけて 騒音測定を実施 幹線道路沿いにある店 舗では、基準値を達成 することが難しいが、 近隣住民とのトラブル の報告はなし

4. 社会貢献活動



コロナ過で、まん延防止 等重点措置が出された ため、クリーンデイが 度々中止になってしま ったが、実施可能な時に は積極的に参加しまし た

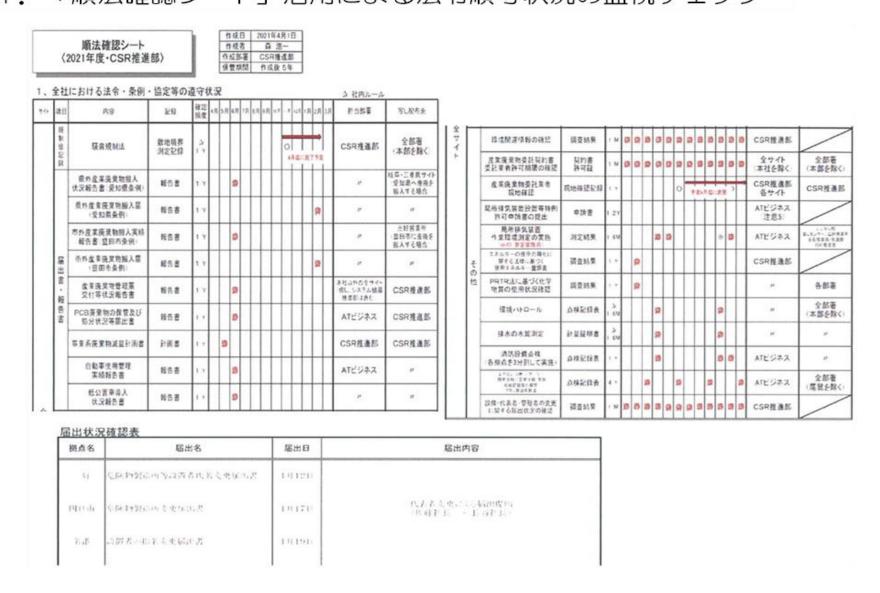


◆トヨタL&F中部株式会社 (主な業務:産業車両・物流機器販売 対象拠点数:29)

EA21環境彩	E営取組項目	単位	年度	使用量	対前年	CO2排出量(t)
	エネルギー使用量	1-0	2020	1,423	0.09/	_
	(原油換算值)	kℓ	2021	1,562	9.8%	_
	高 左	LeVA/In	2020	2,821,488	0.00/	1,258.4
	電気	kWh	2021	2,905,295	3.0%	1,339.3
	±n ± +> ¬	3	2020	1,995	4 60/	4.4
	都市ガス	m³	2021	2,086	4.6%	4.7
	LDO	3	2020	24,582	0.10/	73.7
二酸化炭素	LPG	m³	2021	25,104	2.1%	75.3
排出量の削減	425.0.15 .	0	2020	320,265	E / 10/	743.0
	ガソリン	Q	2021	493,432	54.1%	1,144.8
	軽油	0	2020	391,402	-9.8%	1,009.8
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Q	2021	352,867	-9.0%	910.4
	水道	m³	2020	20,274	-7.0%	10.9
	小 垣	m	2021	18,864	-7.0%	10.2
	二酸化炭素	+	2020	_	12.4%	3,100.4
	排出量合計	t	2021	_	12.470	3,484.7
一般廃棄物	一般廃棄物	ka	2020	_		_
の削減	収先来彻	kg	2021	32,690		_
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	2020	258	9.3%	_
の削減	产 未完未物		2021	282	9.5%	_
古紙資源化	古紙資源化率	%	2020	100	0.0%	_
の推進	口机具冰儿牛	/0	2021	100	0.070	_
次世代自動車	販売比率	%	2020		該当なし	
の推販	HX JULIU AL	70	2021		談当なし	

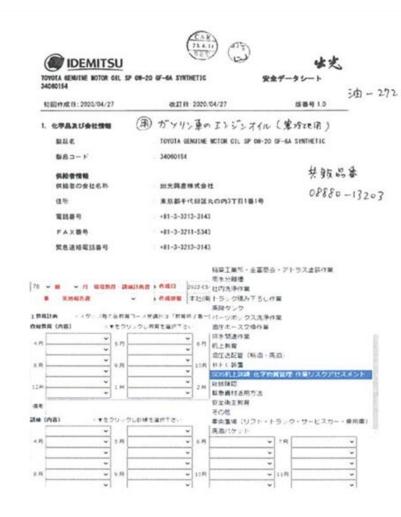
《環境活動取組事例》

1. 「順法確認シート」活用による法令順守状況の監視チェック





2. 化学物質のリスクアセスメント実施





・化学物質に関するリスクアセスメント実施の継続(コントロールバンディング) 全SDS(1268)に対し934リスクアセスメント実施完了。

3. 排水浄化装置設置





・恵那営業所 UF膜排水浄化装置設置。

4. 現場訓練





・安全並びに環境リスクを考慮した「油脂類運搬」「油脂類交換」作業動画を作成し 全社展開を実施。

各拠点の現場訓練に動画教育を取り入れ実施状況については「訓練報告書」提出によって実施完了を確認。



◆愛知スズキ販売株式会社 (主な業務:車両販売 対象拠点数:17)

EA21環境総	E営取組項目	単位	年度	使用量	対前年	CO2排出量(t)
	エネルギー使用量	1-0	2020	538	8.7%	_
	(原油換算值)	kℓ	2021	585	8.7%	_
	命左	Le VA/In	2020	1,316,279	1.0.00/	587.1
	電気	kWh	2021	1,530,679	16.3%	705.6
	都市ガス	m³	2020	354	1.1%	0.8
	都用カス	m	2021	358	1.1%	0.8
	LPG	m	2020	21	-66.7%	0.1
二酸化炭素	LFG	m	2021	7	-66.7%	0.0
排出量の削減	ガソリン	Q	2020	179,391	-1.2%	416.2
	73 7.72	L L	2021	177,208	-1.270	411.1
	軽油	Q	2020	39,535	-14.0%	102.0
	*注/田	L L	2021	33,999	-14.0%	87.7
	水道	m³	2020	7,192	8.8%	3.9
	小垣	111	2021	7,822	0.0%	4.2
	二酸化炭素	t	2020	_	9.0%	1,106.1
	排出量合計	·	2021	_	9.0%	1,205.3
一般廃棄物	一般廃棄物	kg	2020	_	_	_
の削減	双疣来彻	K8	2021	32,141		_
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	2020	459	-34.2%	_
の削減	在未 疣来彻	·	2021	302	-34.2%	_
古紙資源化	古紙資源化率	%	2020	100	0.0%	_
の推進	口拟臭冰心平	70	2021	100	0.0%	_
次世代自動車	販売比率	%	2020	51.9	0.8%	_
の推販	RX 7CLL (*)	70	2021	52.3	0.0%	_

《環境活動取組事例》

1. 『「省エネルギー法」対象の検証』

各店舗は毎月の「電気、ガス、水道、燃料使用量」を環境ポータルサイトで随時確認。





〈電気使用量〉

〈ガス使用量〉

mer.				910.	CZ 4 B				Fal	7年3.约	CHORNE	dit-C1	80
X855-				水道	(Int)	~	3		4-1	in all	NU-CH	sem.	0
中国				2021	1021 🕶								
2075	4/1	571	6/1	775	1/1	171	1071	1171	1271	171	279	279	412
TOR:		127.0		103.0		105.0		105.0		119.0			100.0
THURS	117.8		123.0		101.0		99.2		108.0		82.0		600.0
20	26.0		29.0		34.0		36.0		38.0		29.0		142.0
ARX.	89.5		36.0		39.0		36.0		34.0		38.0		260.0
men -	104.0		81.0		79.0		82.0		79.0		83.0		485.0
ERTTS	233.0		190.0		WZO		87.0		100.0		107.0		818.0
# (1)		162.0		104.0		105.0		127.0		140.0		131.0	772.0
WCH		30.0		31.0		42.0		55.0		44.0		45.0	267.0
400		32.0		42.0		82.0		80.0		90.0			202.0
USCABLE	99.0		44.0		22.0		18.0		17.0		18.0		204.0
BOOM IN	67.0		107.0		94.0		87.0		78.0		71.0		494.0
BAHR.			56.0		81.0		73.0		65.0		80.0		337.0
Ric.		64.0		87.0		83.0		79.0		68.0		80.0	421.0
emucit	10110	404.0	960.0	347.0	882.0	367.0	842.0	426.0	833.0	470.0	713.0	237.0	1,612.0

〈水道使用量〉



〈燃料使用量〉



2. 一般廃棄物削減のための資源化対策(古紙の100%資源化)

古紙の資源化を目的とした分別 BOX 及び機密書類回収 BOX を設置し資源の分別に取り組んだ。











3. 少量危険物庫の設置(刈谷店)

刈谷店に少量危険物庫の設置が完了し、全拠点での少量危険物庫の設置が完了した。





4. 社会貢献活動

全拠点に「使い捨てレンズ空ケース回収 BOX」を設置。素材がプロポリピレンのためリサイクルが容易でCO2の削減、得られた資金は「日本アイバンク協会」へ全額寄付される社会貢献活動に参加しています。





◆株式会社アトコ/株式会社トランサット (主な業務:車両回送 対象拠点数:17/3)

EA21環境彩	E営取組項目	単位	年度	使用量	対前年	CO2排出量(t)
	エネルギー使用量	1-0	2020	519	0.00/	_
	(原油換算值)	kℓ	2021	531	2.3%	_
	雨左	LeVA/In	2020	917,196	0.10/	409.1
	電気	kWh	2021	889,057	-3.1%	409.9
	±n + +× →	3	2020	3,518	0.10/	7.8
	都市ガス	m³	2021	3,197	-9.1%	7.1
	1.00	3	2020	5,443	0.00/	16.3
二酸化炭素	LPG	m³	2021	5,975	9.8%	17.9
排出量の削減	425.0.15	_	2020	52,334	10.0%	121.4
	ガソリン	Q.	2021	58,613	12.0%	136.0
	±₩ _L	_	2020	263,056	0.5%	678.7
	軽油 	Q.	2021	245,968	-6.5%	634.6
		3	2020	14,176	1.00/	7.7
	水追	m³	2021	14,009	-1.2%	7.6
	二酸化炭素	_	2020	_	0.00/	1,241.0
	排出量合計	t	2021	_	-2.9%	1,205.5
一般廃棄物	如此本本地	Len	2020	_		_
の削減	一般廃棄物	kg	2021	4,195	_	_
廃棄物排出量	本	_	2020	50	40.00/	_
の削減	産業廃棄物	t	2021	26	-48.0%	_
古紙資源化	十年 次 海 儿 去	0/	2020	100	0.00/	_
の推進	古紙資源化率	%	2021	100	0.0%	_
次世代自動車	E 幸 U, 泰	0/	2020		=+ 1/4 +>1	•
の推販	販売比率	%	2021		該当なし	

《環境活動取組事例》

1.「ATG環境ガイドライン」の遵守

 ATGガイドラインのチェック ATGガイドラインに沿って、活動や各設備 のチェックを行った。 また、必要に応じ各拠点へ訪問し、環境 ガイドライン遵守の重要性について周知を 図った。



② ATグループが作成した

環境マネジメント推進ツールの活用 環境マネジメント推進ツールの「EMS運用 ファイル」「記録・保管ファイル」の拠点の 運用状況についてチェックを行った。 また、新任の拠点長や適正な運用が行われ ていない拠点への説明を行い、ツールの 重要性について周知を図った。





③ ATグループ作成の環境冊子の利用 環境マネジメント推進ツールの環境教育冊子 「私たちができる職場の環境活動」を使用し、 社員に対し環境事故やトラブル防止の重要性に ついて周知を図った。



<環境教育冊子>

2. 騒音測定を実施し現状を把握

FP 高辻、SS 高辻店において騒音状況の調査を行った。 両拠点とも最大の騒音値は基準値を超えており、今後の作業方法の見直しや近隣住民への配慮を行うよう拠点に求めた。



■「騒音測定」結果報告書



3. 新規拠点のLED化実施

12月16日に砿油部門が旧クラウン自動車学校から移動し 新事務所にて業務を開始した。 新事務所の照明などは LED を使用、また、車両へ 給電できる『壁掛型充電器』を装備、PHV・EV 車両への 対応も行えるようにし、拠点から排出される CO²削減を 考えつつ、来るべく EV 車時代到来を見越した設計と なっている。





◆愛知クレジットサービス株式会社 (主な業務:自動車ローン 対象拠点数:1)

EA21環境系	圣営取組項目	単位	年度	使用量	対前年	CO2排出量(t)
	エネルギー使用量	1-0	2020	10	20.0%	_
	(原油換算值)	kℓ	2021	12	20.0%	_
	命与	ls\A/la	2020	33,205	12.00/	14.8
	電気	kWh	2021	37,833	13.9%	16.9
	都市ガス	m³	2020		=± ¼ +>	
	御印ガス	m	2021		該当なし	
	LPG	m	2020		該当なし	
二酸化炭素	LFG	111	2021		設当なし	
排出量の削減	ガソリン	Q.	2020	1,965	0.8%	4.6
	73 7-92	2	2021	1,981	0.070	4.6
	軽油	Q.	2020		該当なし	
	¥±/四	2	2021		該当なし	
	水道	m³	2020		該当なし	
	小 ///	- '''	2021		設当なじ	
	二酸化炭素	t	2020	_	10.8%	19.4
	排出量合計	,	2021	_	10.070	21.5
一般廃棄物	一般廃棄物	kg	2020	_	_	_
の削減	双元未120	N6	2021	_		_
廃棄物排出量	産業廃棄物	+	2020		該当なし	
の削減	<u></u>		2021		欧当なじ	
古紙資源化	古紙資源化率	%	2020	100	_	_
の推進	口机具冰心干	/0	2021	100		_
次世代自動車	販売比率	%	2020		該当なし	
の推販	RIX YELLO YE	70	2021		改当なし	

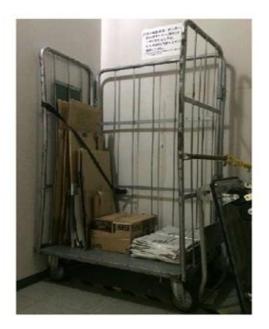
《環境活動取組事例》

1. 廃棄物の適正排出

ATG 西館では、回収箱の統一を行い分別表示し 仕分けしやすい環境にした。

また、ATG 西館 5 階の階段踊り場に紙資源回収場所にかご付台車を設置し4Sをしやすい環境にした。





<階段踊り場設置のかご付台車>

<左から可燃、不燃、ペットボトル、空き缶、空き瓶の回収箱>



2. フロン排出抑制法対応点検

フロン排出抑制法に基づいた業務用エアコンの 簡易点検をATBと協力し、2月に実施した。

R1.8 にシャフトから異音が大きくなり全台セットの為に 全数取り換えを実施。



3. 社会貢献活動



<まちなかクリーンデー実施>

社会貢献活動の一環として、毎月第二金曜日に ATG 西館周辺のゴミ拾いを行っています。 (まちなかクリーンデー)



◆トヨタ情報システム愛知株式会社 (主な業務:システム開発 対象拠点数:2)

EA21環境組	E営取組項目	単位	年度	使用量	対前年	CO2排出量(t)
	エネルギー使用量	1-0	2020	248	C EN	_
	(原油換算值)	kℓ	2021	232	-6.5%	_
	雨左	LeVA/In	2020	768,393	E 00/	342.7
	電気	kWh	2021	727,932	-5.3%	335.6
	#7士 ギラ	m³	2020	39,567	10.5%	88.2
	都市ガス	m	2021	34,229	-13.5%	76.3
	LPG	m³	2020		該当なし	
二酸化炭素	LFG	m	2021		該当なし	
排出量の削減	ガソリン	Q	2020	4,913	9.5%	11.4
	73792	, v	2021	5,381	9.5%	12.5
	軽油	Q	2020		該当なし	
	整 冲	×.	2021		改当なし	
	水道	m³	2020	3,044	-5.7%	1.6
	小 垣	""	2021	2,872	3.7/0	1.6
	二酸化炭素	t	2020	_	-4.1%	444.0
	排出量合計		2021	_	7.170	425.9
一般廃棄物	一般廃棄物	kg	2020	_	_	_
の削減	7/J X 1 7/J	Νδ	2021	1,980		_
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	2020	14	-71.4%	_
の削減	产 来况未初		2021	4	7 1.170	_
古紙資源化	古紙資源化率	%	2020	100	0.0%	_
の推進		/0	2021	100	0.070	_
次世代自動車	販売比率	%	2020		該当なし	
の推販	WX 76 20 +	/0	2021		₩ 3 .80	

《環境活動取組事例》

1. ATG環境ガイドラインの遵守



<環境教育冊子>

①ATグループ CSR EMS 作成の環境教育冊子 環境マネジメント推進ツールの環境教育冊子 「私たちができる職場の環境活動」を利用し、 新入社員を対象に勉強会を実施。

②AT グループ CSR EMS 作成の 環境マネジメント推進ツール

環境マネジメント推進ツールの「EMS 運用ファイル」 「記録・保管ファイル」を運用した。





<EMS 運用ファイルと記録・保管ファイル>



2. フロン排出抑制法対応点検

①エアコン点検実施

フロン排出抑制法に基づいた業務用エアコンの 簡易点検(9月と3月)と業者による定期点検(6月 と1月)を実施した。



<エアコン室外機>

3. 社会貢献活動

①社会貢献活動

社会貢献活動の一環として、毎月第二金曜日に 拠点周辺のゴミ拾いを行っている。 (まちなかクリーンデー)





◆株式会社ATビジネス (主な業務:間接業務 対象拠点数:5)

EA21環境組	E営取組項目	単位	年度	使用量	対前年	CO2排出量(t)
	エネルギー使用量	1-0	2020	557	1 10/	_
	(原油換算値)	kℓ	2021	563	1.1%	_
	毒与	LaNA/Ia	2020	2,015,677	1.00/	899.0
	電気	kWh	2021	1,995,051	-1.0%	919.7
	±n+±×→	3	2020	2,662	0.00/	5.9
	都市ガス	m	2021	2,891	8.6%	6.4
	LDO	3	2020	15,570	7.00/	47
二酸化炭素	LPG	m	2021	14,484	-7.0%	43
排出量の削減	125 11 15	0	2020	25,651	1 00/	59.5
	ガソリン	l l	2021	25,907	1.0%	60.1
	# ∀ >- ↓ -	0	2020	516	4.4.00/	1.3
	軽油 	l l	2021	744	44.2%	1.9
		3	2020	7,952	1 0 00/	4.3
	水追	m	2021	6,984	-12.2%	3.8
	二酸化炭素		2020	_	1 50/	1,016.8
	排出量合計	t	2021	_	1.5%	1,031.6
一般廃棄物	加克克森林	l.e	2020	_		_
の削減	一般廃棄物	kg	2021	33,384	_	_
廃棄物排出量	并类应	+	2020	_		_
の削減	産業廃棄物	t	2021	1,050	_	_
古紙資源化	十年次海儿士	0/	2020	100	0.00/	_
の推進	古紙資源化率	%	2021	100	0.0%	_
次世代自動車	15 ましず	0/	2020		=±, 1/4 + S1	
の推販	販売比率	%	2021		該当なし	

《環境活動取組事例》

①省エネルギー対策 (使用量の対前年1%削減)

各拠点に節電・節水・室内温度のプレートを表示 し、省エネルギーへの意識付けを行いました







2一般廃棄物削減のための資源化対策

ゴミ箱に分別早見表を掲示し、分別の理解促進を行いました





③ 放流水水質検査

水質調査会社に水質調査を依頼しました 結果、各工場ともに基準値を遵守しています

1. 水質検査結果一覧

分析項目		pH	80D (mg/l)	SS (mg/1)	N-4+95 (mg/l)	(mg/1)	T-N (mg/l)	T-P (mg/)
排水基準 事業所名	採取日	5.8~8.6	160	200	5	160	120	16
高辻サービスセンター	7/27	7.0	39	10	c05	17	1.6	0.05

3	分析項目	採水日	pН	BOD (mg/l)	SS (mg/l)	N-^+#> (mg/l)
排水基準 事業所名		IKAL	5.8~8.6	160	200	5
グッドラック	廃水処理槽	6/15	7.1	1.8	<1	<0.5
	洗車機前	6/15	7.1	1.7	3	<0,5
	最終放流口	6/15	6.6	2.5	2	<0.5
	油水分離槽	6/15	7.6	2.3	2	<0,5
	浄化槽排水	6/15	7.4	5.6	2	<0.5
ナイスラック	最終放流口	6/15	7.2	6.0	3	<0.5
	排水処理水槽	6/15	7.1	1.0	3	<0.5
	油水分離槽(洗車)	6/15	6.9	16	6	1.0

⑤緊急事態想定訓練

オイルの流出を想定した緊急事態訓練を年2回実施し、環境事故の対応を学ぶ機会としました



4 騒音測定

工場敷地4カ所の騒音を測定しました 結果、各工場ともに基準値を遵守しています



⑥環境教育冊子、e information

環境教育冊子「私たちができる職場の環境活動」 と環境情報共有ニュースを社員に展開し環境知 識の習得をおこないました





7水性塗料

VOC 排出量削減に向けて水性塗料を導入し試験運用を開始しました



⑧排水処理装置および排水ろ過装置

加圧浮上装置の維持管理を適正に行い放流水 の水質向上につなげました また、ろ過装置を使用しての水循環により上水 道の使用量を削減しました







◆ATグループ健康保険組合 (主な業務:社会保険業務 対象拠点数:1)

EA21環境経営取組項目		単位	年度	使用量	対前年	CO2排出量(t)	
	エネルギー使用量	kℓ	2020	37	2.7%	_	
	(原油換算值)		2021	38	2.770	_	
	電気	kWh	2020	108,422	-0.5%	48.4	
			2021	107,863	-0.5%	48.1	
	都市ガス	м³	2020	3,721	8.5%	8.3	
			2021	4,039	0.5%	9.0	
	LPG	п³	2020		該当なし		
二酸化炭素			2021		該当なし		
排出量の削減	ガソリン	Q	2020	2,631	-21.5%	6.1	
			2021	2,065	-21.5%	4.8	
	軽油	Q	2020	4,245	-11.7%	11.0	
			2021	3,747		9.7	
	水道	м³	2020	830	3.5%	0.4	
			2021	859		0.5	
	二酸化炭素 排出量合計	t	2020	_	-3.5%	74.2	
			2021	_	-3.5%	71.6	
一般廃棄物	一般廃棄物	kg	2020	_		_	
の削減			2021	3,495	_	_	
廃棄物排出量 の削減	産業廃棄物	t	2020	2.4	4.2%	_	
			2021	2.5	4.270	_	
古紙資源化	古紙資源化率	%	2020	100	0.0%	_	
の推進			2021	100	0.070	_	
次世代自動車	販売と支	%	2020	該当なし			
の推販	販売比率		2021				

《環境活動取組事例》

- 1. ATG環境ガイドラインの遵守
 - ①自主チェックの実施

フロンガス排出規制法基づき「(フロン排出抑制法に基づく)簡易点検記録簿」により、年4回(4月・7月・10月・1月)の点検を実施した

大型空調機器(GHP)については業者による定期点検も実施

<フロンガス簡易点検記録簿>

第一種特定製 品の管理者の 氏名又は名称	ATグループ	建保会館	法人にあっては、 実際に管理に従事 する者の氏名	起程課 土屋延樹 エアコン フクシマがリレイ PMS-F154US (薬品用冷凍冷魔庫 202(年製)			П	EES9	エアコンは「エー(連番) 冷 - 2
第一種特定製 品の所在			機器の確就・ 型式番号等				\neg	圧縮機を駆動する 電動機の定格出力	0.35 kv
冷健として 充壌されている フロン類の種類	HFC 代替プロン	(R-404A)	文様されている				定期直検の施度 (法定) 3年に・1 関しない 1開以上 1		
				株金さ	行う事項			直検の結果	0 2
点核実施 年月日	点検を行った者 の氏名	表定型助 表常道较音	外戦の損傷、摩 鈍、微食、値び、 その他の劣化	油にじみ	節交換器の 器付き	(冷凍冷蔵機器の場合) 倉庫、保外網その他の投 おける貯蔵又は維列する の温度	保にお	プロンの讃えい又は 政雄等の有限 有の場合はその概要	
2021/7/15	土屋征樹	* (1)	* *	# (#)	# (11)	25 "0	;	無	2021/6/11納品
2021/10/15	土屋征樹	* (1)	* (11)	* (*	# (18)	20 %	,	無	
2022/1/28	土屋征樹	* (1)	* (11)	# (#)	# (B)	20 %	,	m	
		# · #	有・無	# · #	ar - m				
		# - #	*	有・無	4 · m				
		* * *	# · M	# · #	有・無				
		# · #	有・無	# · #	* - #				
		# · M	有・無	* - #	4 · m				
		* • *	有・無	有・無	有・無				
		# · #	* - #	# · #	# · #				

※ 定期点検、故障等に伴う専門点検、修理および整備時のフロンの充填・回収等の記録については、別途記録簿(ログブック)を作成し、保存。



2. 省エネルギー法対象の検証

ATGポータルサイトにおいて、電気・ガス・水道・ガソリン・軽油の使用量の把握を行った

<エネルギー集計表>



3. 省エネルギー法対象の検証

①空調設備スイッチに「夏は28度・冬は20度」、 照明スイッチや水道周りに「節電」「節水」を促すプレートを貼り徹底

<節電・節水を促すプレート表示>





4. 廃棄物(産廃および一廃)の分別廃棄

ごみの分別回収箱を利用し、分別方法も掲示して、正しい分別・廃棄を行った 医療廃棄物は専用回収箱を使用

<可燃ゴミ・プラスチック・ペットボトル等の回収箱>

75x+27

<医療廃棄物(注射針)専用回収箱>

